

排水設備工事台帳

排水設備等新設等確認（変更確認）申請書

年 月 日

大井町下水道事業
大井町長 様

申請者 住所

氏名
(法人の場合は、代表者名)

電話

次のとおり申請します。

申請区分	新築 増改築 切替 [浄化槽 くみ取り]		
	確認事項の変更（変更内容及び理由を具体的に記入してください。）		
工事場所	大井町		
使用者	住所		氏名
用途区分	家事用 賃貸・アパート用 業務用（業務の種類） その他（ ）		
工事予定日	着工	年 月 日	完了
施工者	住所		
	会社名		
	代表者名		
	電話		
	責任技術者名		

次のとおり決定してよろしいか。			受付番号	第	号
課長	副課長	主任	課員		
			受付	年 月 日	
			起案	年 月 日	
決定区分	支障ない	支障がある	決裁	年 月 日	
処理分区及び地区・区域	4分区	5分区	通知	年 月 日	
	市街化区域 調整区域				
決定理由及び指摘事項					

工種	名称	型式・寸法	見 積			精 算		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額
便所	槽処理費		式	円	円	式	円	円
	型							
	排便管							
工事	小計							
	mm	段	箇所					
排水	管種	mm	m					
	直ビニル管							
水	継							
	工							
手	類							
	既設管接続工		箇所					
その他								
	小計							
設備工事	純工事費計							
	調査費							
	設計費							
	諸経費							
	小計							
給水工事費								
工事費計								
消費税								
合計								

精 算			
課長	副課長	主任	課員
課 員			

標章番号	
量水器番号	
検針年月日	年 月 日
及び水量	m ³
完成年月日	年 月 日
完成検査日	年 月 日
及び水量	m ³
検査員	

給水工事費	工 種 設 計 精 算	
	円	円
材料費		
労力費		
小計		
材料運搬費		
調査費		
設計費		
諸経費		
小計		
合計		

給水工事費確認者

下水道使用料賦課済	
確認者印(上水)	確認者印(下水)

排水設備工事台帳

排水設備等新設等確認(変更確認)申請書

年 月 日

大井町下水道事業

大井町長 様

申請者 住所 **大井町金子1995**

朱書きの部分が、記入例です。
サイズはB4、厚みは157g/m²です。
裏面に別紙で位置図・平面図・表を付けて下さい。裏面の内容は、記入例(図面)を参考にしてください。

氏名 **大井 太郎**

(法人の場合は、代表者名)

電話 - -

次のとおり申請します。

申請区分	新築 増改築 切替 [浄化槽 くみ取り]		
	確認事項の変更(変更内容及び理由を具体的に記入してください。)		
工事場所	大井町 金子 字 宮地 1995 番地		
使用者	住所 大井町金子1995	氏名 大井 太郎	
用途区分	家事用 賃貸・アパート用 業務用(業務の種類) その他()		
工事予定日	着工 年 月 日	完了 年 月 日	
施工者	住所 大井町金子 会社名 代表者名 大井 二郎 電話 - - 責任技術者名 大井 二郎		

次のとおり決定してよろしいか。			受付番号	第 号
課長	副課長	主任	課員	
				受付 年 月 日
				起案 年 月 日
決定区分	支障ない	支障がある	決裁	年 月 日
処理区分及び地区・区域	4分区 5分区	甲地区 乙地区	通知	年 月 日
市街化区域 調整区域				
決定理由及び指摘事項				

工種	名称	型式・寸法	見 積			精 算		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額
便 所	槽処理費		式	円	円	式	円	円
	型							
	排便管							
工 事	小 計							
	mm 段 箇所							
排 水	汚水枳							
	管種	mm m						
工 手	直ピニル管							
	継							
事 類	既設管接続工	箇所						
	その他							
小 計								
設 備	純工事費計							
	調査費							
	設計費							
	諸経費							
	小 計							
工 事	給水工事費							
	工事費計							
	消費税							
合 計								

精 算			
課長	副課長	主任	課員
課 員			

標 章	
番 号	
量水器	
番 号	
検針年月日	年 月 日
及び水量	m ³
完 成	年 月 日
年月日	
完成検査日	年 月 日
及び水量	m ³
検 査 員	

給 水 工 事 費	工 種	設 計	精 算
	材 料 費	円	円
	労 力 費		
	小 計		
	材 料 運 搬 費		
	調 査 費		
	設 計 費		
	諸 経 費		
	小 計		
	合 計		
給水工事費確認者			

下水道使用料賦課済	
確認者印(上水)	確認者印(下水)

排水設備工事台帳

排水設備等新設等確認(変更確認)申請書

年 月 日

大井町下水道事業

大井町長 様

申請者 住所 大井町金子1995

朱書きの部分が、記入例です。
量水器番号や水量等の記入をして下さい。
裏面には位置図・平面図・表などを直接印刷して下さい。

氏名 大井 太郎
(法人の場合は、代表者名)

電話 - -

次のとおり申請します。

申請区分	新築 増改築 切替 [浄化槽 くみ取り]			
	確認事項の変更(変更内容及び理由を具体的に記入してください。)			
工事場所	大井町 金子 字 宮地 1995 番地			
使用者	住所	大井町金子1995	氏名	大井 太郎
用途区分	家事用 賃貸・アパート用 業務用(業務の種類) その他()			
工事予定日	着工	年 月 日	完了	年 月 日
施工者	住所	大井町金子		
	会社名	大井 二郎		
	代表者名	-		
	電話	-		
	責任技術者名	大井 二郎		

次のとおり決定してよろしいか。			受付番号	第 号
課長	副課長	主任	課員	
				受付 年 月 日
				起案 年 月 日
決定区分	支障ない	支障がある	決裁	年 月 日
処理区分及び地区・区域	4分区	5分区	通知	年 月 日
	市街化区域			
決定理由及び指摘事項				

工種	名称	型式・寸法	見 積			精 算		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額
便 所 工 事	槽処理費		式	円	円	式	円	円
	型							
	排便管							
	小 計							
排 水 工 事 類	汚水桝		mm	段	箇所			
	管種		mm	m				
	直ピニル管							
	継 手							
	既設管接続工			箇所				
	そ の 他							
	小 計							
	設 備 工 事	純工事費計						
		調査費						
		設計費						
	諸経費							
	小 計							
	給水工事費							
	工事費計							
	消費税							
	合 計							

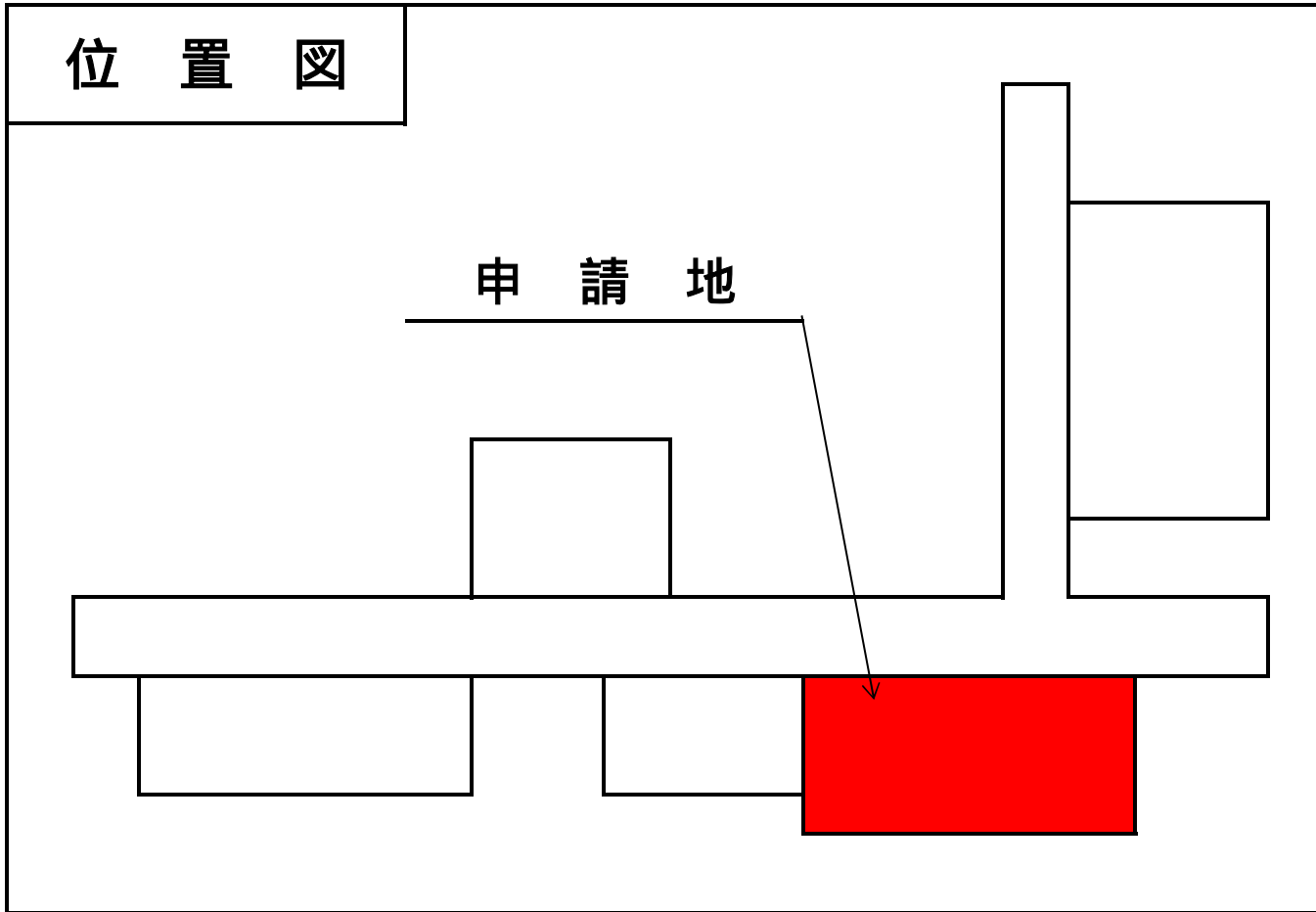
精 算			
課長	副課長	主任	課員
課 員			

標 章 号	
量水器番号	
検針年月日	年 月 日
及び水量	m ³
完 成 年月日	年 月 日
完成検査日	年 月 日
及び水量	m ³
検 査 員	

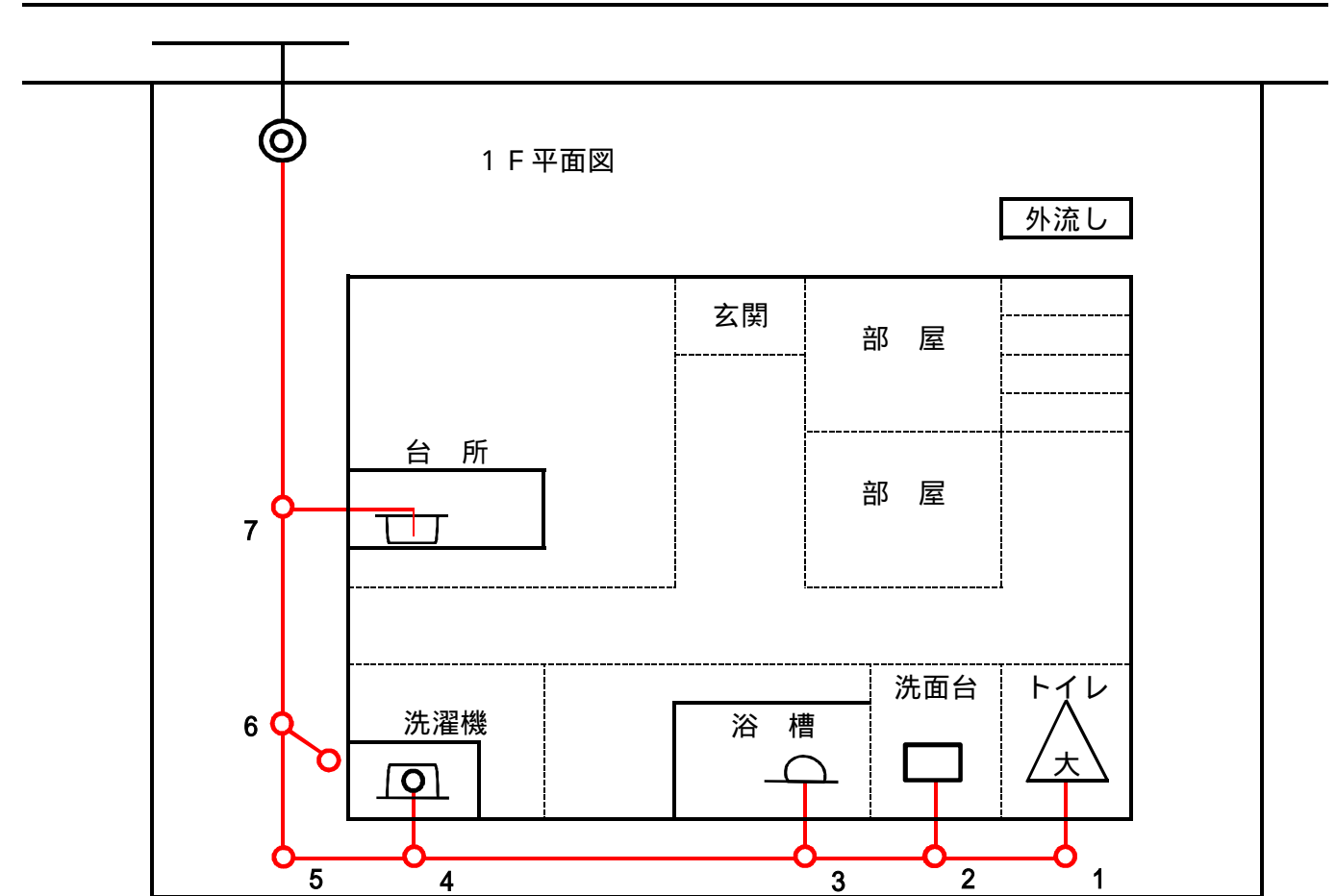
給 水 工 事 費	工 種 設 計 精 算	円	円
	材 料 費		
	労 力 費		
	小 計		
	材 料 運 搬 費		
	調 査 費		
	設 計 費		
諸 経 費			
小 計			
合 計			
給水工事費確認者			

下水道使用料賦課済	
確認者印(上水)	確認者印(下水)

位置図



1 F 平面図



施工について

- ・排水管の土かぶり、原則 20 cm 以上とします。
- ・最上流以外のトイレ排水管は、管理ますに段差ますを使って下さい。
(上記の図では、1 は通常のますを使い、6 は段差ますを使います)
- ・屋内の排水は、排管機能に支障なく、できるだけ最短経路で屋外へ排管してください。
- ・大井町の下水道は分流式のため、雨水及び外流しについては接続しないでください。ただし、外流しについては、倉庫の中など雨水が浸入しない場合は、接続が可能です。
- ・塩ビ製の公共枳は、立上管に支管を使用して排水設備を接続できます。コンクリート製の公共枳は、ドロップ枳を使用して躯体から接続してください。(詳細は、申請時に担当と打合せしてください。)

申請について

- ・申請時は用紙に直接印刷せず、B4サイズの別紙で申請してください。完成時に直接印刷して下さい。
- ・完成時には、排水設備等新設等工事完了届・公共下水道使用開始等届を提出して下さい。
- ・グリーストラップ等を設置する際には、除害施設の届出が必要です。また、内容によって特定事業場の届出が必要になります。
- ・申請後に数か月で撤去する仮設の排水設備は、担当者と打合せをしたうえで公共下水道使用開始等届と図面で申請することもできます。

No.	枳径mm	深さmm	延長	管径mm	勾配%	地盤高	備考
1	150	300		100	2.0/100	±0	
2	150	320	1.0	100	2.0/100	±0	
3	150	340	1.0	100	2.0/100	±0	
4	150	400	3.0	100	2.0/100	±0	
5	150	420	1.0	100	2.0/100	±0	
6	150	450	1.5	100	2.0/100	±0	段差
7	150	520	3.5	100	2.0/100	±0	
公枳	200	610/1000	4.5	150	2.0/100	±0	

令和4年11月10日
塩ビ製の公共枳は、立上管に支管を使用して排水設備を接続することを許可しました。ただし、公共枳内突出しの場合枳内壁から3cmとし、接続箇所は1箇所のみとします。

2 F 平面図

